



ざばあぶおまんす
武道館す

平成15年度 第7号
発行責任者
高崎市石原町
高崎武道館
高崎剣道教室
上條 宏之



二〇〇四年一月十三日高崎剣道教室の申年稽古の第一日が始まりました。十八名の少年少女剣士が、今年も剣道で頑張ろうと出席しました。年の初めにはやはり目標を立てるべきであるう。みなさんはもちろん今年の抱負とかでもう、こころの中に書き初めているよね。先生達の立場からすれば、何よりもかわい君たち、今年も元気で怪我なく健康でいてくれれば・・と思う。ちよつと贅沢な気持ちだが、剣道で頑張つて・・ことしもうろいる大会に参加します、これまでなかなか

す。人は身も心も成長していかなくてはなりません。これからみなさんは多くの知性・知識を身に付けてゆきます。それが溢れるばかりになったら、周りを考え、社会を考え、そして世界を考えていって、できることでそれぞれ世の中に奉仕をしていって下さい。その奉仕の一端に日本の剣道文化の継承があれば、先生達はなお、うれしいよ。とにかく、今年も剣道ガンバ茶いましょう。



勝てない子どもたちがまだまだ多くいます。一年に一勝でもいい。ぜひ勝つことのすばらしさ味わってもらいたい。剣道は勝つことは全く目的ではありません。しかし勝つことによつて自らのこれまでの一生懸命が自分で確認できます。そうすればまた新しいステップへと向かっていけると思いま

剣道一級審査会
阿部・矢島大合格

1月18日市武道館で、平成15年度高崎支部第2回剣道1級審査会が開催されました。小学生から一般の人たち29名の剣道好きが挑戦しました。審査は受験の諸作法からきちんと教授されました。

阿部選手は序盤に登場・・空振りがなければよいが・・とひやひやもん。小学後半に矢島選手登場・・なが〜い左足がきちんとおさまってくれればよいが・・とどきどきもん。結果お見事に大合格でした。2枚の証書、これは君たちの小学時代の大きな努力の証(あかし)だ。汗と涙?と時間(とき)のかたまりだよ。さあ、今度は初段にむけてがんばりたまえ。

